

令和2年第5回市議会定例会質問者一覧表

(令和2年11月30日、12月1日、2日)

代表質問者一覧表〔第5回市議会定例会 令和2年11月30日開議〕

質問日	令和2年11月30日(月)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	32	氏名	高林 修
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 区再編について (1) 大都市制度について (2) 市政を語る会について (3) 行財政改革の考え方について (4) 区再編の今後の進め方について (5) 住民説明会について	<p>9月28日の全員協議会で本市議会は区の再編が必要と結論づけた。行財政改革・大都市制度調査特別委員会もその結果を踏まえて区再編について協議中である。この時点で、二元代表制の一翼を担う市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 大阪都構想の住民投票は、反対50.62%、賛成49.38%と拮抗した結果になった。そこで、大都市制度について、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 市長の「市政を語る会」は先日4回の全日程が終わったが「区を再編しても住民サービスは低下しない」との発言について、改めて考えを伺う。</p> <p>(3) 市長は財政改革のために行政組織改革をする考えなのか、住民サービスの維持向上のための行政組織改革であって、結果として健全財政が達成できるとの考えなのか伺う。</p> <p>(4) 区再編について、市長は今後どのように進める考えか伺う。</p> <p>(5) 区再編が必要との結論に至った特別委員会での協議等の経緯説明会は、今月27日の天竜区自治会連合会への説明で全14か所が終わる。そこで、以下3点伺う。 ア 自治会連合会と区協議会での質疑内容に違いはあるか。 イ 地域ごとに特色はあるか。 ウ 今後の協議の経過の中で、市民への次の説明機会はどのステージが適切と考えているか。</p>						鈴木市長 " " " 鈴木副市長
2 新型コロナウイルス感染症について (1) 現在の警戒レベルについて	<p>ここ一世紀では、1918年スペインかぜ、1957年アジアかぜ、1968年香港かぜ、2009年の新型インフルエンザはパンデミックで多くの命が失われた。新型コロナウイルス感染症も全世界での感染者数、死亡者数はパンデミックであることを示している。</p> <p>目を転じて国内状況についての認識を以下伺う。</p> <p>(1) 本市の新型コロナウイルス感染者は本年3月28日の一人目から、11月17日時点で実に361症例となった。クラスターも数例発生し、お亡くなりになった方もいる。市立学校の休業もあり、寒冷期を迎え予断を許さない状況である。そこで、以下2点伺う。</p>						鈴木医療担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(2) 医療機関への支援について</p> <p>(3) 職員の感染対策について</p> <p>3 マイナンバーカードについて</p>	<p>ア 県の感染流行期・ステージと各指標に当てはめると、本市の状況はどのステージになるか伺う。</p> <p>イ 入院対象ではない市民の軽症者等の受入れ体制を伺う。</p> <p>(2) 本年4月から6月までの受診者数は小児科と耳鼻咽喉科が大きく落ち込んだ。特に両科は感染症対策設備投資と、手洗いうがいの励行によるインフルエンザ患者の減少もあり経営危機にある。もともと小児科は診療点数が他科に比べ低く内部留保も少ない。国、県による医療機関補助制度の内容を伺う。</p> <p>(3) 職員のマスクの着用状況について、以下2点伺う。</p> <p>ア マスクの着用をどのように職員に周知しているのか。</p> <p>イ マスクの着用状況はどうか。</p> <p>マイナンバーカード交付は、窓口では長時間待つなど、混雑が常態化していると聞いた。マイナンバーカードの交付状況、その推移と増加した要因、また窓口の混雑緩和に向けどのような対応をしたか伺う。</p>	<p>鈴木医療担当部長</p> <p>金原総務部長</p> <p>奥家市民部長</p>
<p>4 児童の育ちについて</p> <p>(1) 不登校児童について</p> <p>(2) 黙働清掃について</p> <p>(3) 放課後児童会について</p>	<p>(1) 不登校児支援事業については、ピアサポートの取組、ペアレント・トレーニングの実施など、努力してもらっている。ただ、就学児童・生徒数が逡減しているにもかかわらず、不登校児童・生徒数の実数が増加している。教育委員会としては、不登校の原因をどのように分析しているのか。また、さらに踏み込んだ実態把握をした上で支援策を検討することが必要であると思われるが、考えを伺う。</p> <p>(2) 令和元年第4回定例会における鈴木恵議員の質問の中で、黙働清掃は遺憾との発言があった。服装や髪型などの決まりと黙働清掃などの学校生活上のルールの見直しを求めているが、黙働清掃については、ほとんどの学校で変更されていないと聞いた。教育委員会としては、黙働清掃の意義についてどのように考えているか伺う。</p> <p>(3) 放課後児童会の所管について、静岡県内では教育委員会が13市町、こども関係部局が11市町、福祉関係部局が11市町となっており、また、政令市では教育委員会4市、こども関係部局は16市となっている。本市では教育委員会が所管であるが、その理由と方向性について伺う。</p>	<p>花井教育長</p> <p>〃</p> <p>金原総務部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>5 財政について</p> <p>(1) プライマリーバランスについて</p> <p>(2) 国庫補助負担金の超過負担について</p>	<p>(1) 一般会計のプライマリーバランスがゼロと仮定した場合、市債償還予定額から市債の起債額は算出可能だと思われる。新型コロナウイルス感染症の経済への影響や、法人市民税の税率改定などで税収減は必至の情勢で、今まで以上に令和3年度予算総額は厳しいのではと懸念する。</p> <p>中期財政計画での令和4年度までの市債残高目標は既に達成しているのでプライマリーバランスが赤字であっても、健全財政の維持は揺るぎないと考えているが、新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、備えが必要であることは正しいとも考える。</p> <p>ア 令和3年度において、プライマリーバランスがゼロ近傍となる借入額を伺う。</p> <p>イ プライマリーバランスが赤字になる可能性としてどんな要因が想定されるか伺う。</p> <p>(2) 9月4日発表の令和3年度予算編成方針には、市税はもとより国庫補助負担金等も含め、より一層の歳入確保を徹底するとあるが、令和2年度決算の国庫補助負担金の超過負担については、当然ながら財務諸表のどこを探しても出てこない。超過負担分を国に求めた1973年の摂津訴訟が有名だが、47年も経過しており、いわゆる青本で、指定都市は毎年国に超過負担の解消を要望している。全く国によるいじめのようなものだが、国の示す補助基準、補助単価、補助条件が実情と乖離している。しかしながら国に対する意見書はほとんどない。そこで、以下2点伺う。</p> <p>ア 令和2年度決算における国庫補助負担金の超過負担額を伺う。</p> <p>イ 超過負担に対する考えを伺う。</p>	<p>森本財務部長</p>